

令和4年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立長良特別支援学校

学校番号

103

自己評価

学校教育目標	児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育活動を推進し、こころ豊かにたくましく主体的に生きる力を育成する
評価する領域・分野	「学校教育全般」
現状及びアンケートの結果分析等	・教育活動におけるアンケートでは、すべての項目で「よくあてはまる」「ややあてはまる」の回答が85%以上あり、ある程度理解を得ている。一方、「児童生徒の経験を広めているか」「教育活動について積極的に公開しているか」等には「あまりあてはまらない」との回答があった。今後はこのような意見を大切に対応を図っていく。 ・病弱の児童生徒を対象とした学校として、児童生徒の安全を確保するため、隣接する長良医療センターと連携を図りながら教育活動を進めている。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	・安全で適正な医療的ケアを推進する（保健部） ・児童生徒の実態に合ったICT機器の活用を促進する（研究研修部）
重点目標を達成するための校内組織体制	・医療的ケアを必要とする児童生徒の体調急変時対応を検討する場を設ける。 ・ICT機器の活用方法について担当者が直接支援できる場を設定する。
目標の達成に必要な具体的取組	・体調急変時対応について全ての職員が意識できるよう研修等を行う。また、長良医療センターと連携しマニュアルの作成や合同訓練を実施する。 ・「ICT強化週間」等を設定し、積極的にICT機器の活用を進める。
達成度の判断・判定基準あるいは指標	・児童生徒の体調急変時に、児童生徒の安全が確保できているか。 ・児童生徒や学校の実態に合ったICT機器の活用ができているか。
取組状況・実践内容等	・実際にあった体調急変時対応をもとに全職員に対する研修会を実施。 ・体調急変時対応マニュアルを長良医療センターと連携して作成。 ・ICT機器やオンラインを活用した授業や支援会議、職員会議等を実施。 ・VRゴーグル等の機器を活用した新たな取り組みを実施。
評価の視点	評価
① 各職員が緊急時に対する意識をもつことができたか。	A (B) C D
② 長良医療センターと連携しマニュアルの作成や合同訓練が実施できたか。	(A) B C D
③ ICT機器の活用ができているか。	(A) B C D
成果・課題	総合評価
○コロナ感染対策などもあり、緊急時対応についてなかなか長良医療センターと連携がとれずにいたが、今年度は複数回検討の場を持ち、マニュアル改正も行った。 ○児童生徒の実態やコロナの感染状況に応じて、効果的にICT機器を活用することができた。eスポーツ大会等ICT機器を活用した行事も充実しつつある。 ▲各職員の児童生徒の体調急変時に対する意識は高まっているが、対応力については今後もマニュアルの説明や研修を重ね全職員の力を高める必要がある。	(A) B C D
来年度に向けての改善方策案	・安心安全な学校生活を目指して、新しい緊急対応マニュアルを使った訓練や研修を実施することで、誰もが安全で迅速な対応がとれるようにする。 ・定期的に説明会を行い、どの職員もICT機器を活用できるようにする。

学校関係者評価（令和5年2月9日実施）

意見・要望・評価等
・訓練やマニュアル等の作成も大切だが職員が緊急事態発生時の意識をもっていなければ風化してしまう。本当に理にかなったマニュアルかどうか毎年定期的に見直していく必要がある。

